

2023年3月期第2四半期

決算説明会

プレゼンテーション資料

2022年11月24日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

# INDEX

## I. 2023年3月期第2四半期決算の概要

- 1. 決算概要（連結、セグメント別） … P 3
- 2. 損益計算書（連結、個別） … P 5
- 3. 部門別の概況 … P 7
- 4. 貸借対照表（連結、個別） … P 13
- 5. キャッシュ・フロー（連結） … P 17

## II. 中期経営計画の進捗と2023年3月期業績見通し

- 1. 新中期経営計画 骨子 … P 19
- 2. 新中期経営計画 企業理念と長期ビジョン … P 20
- 3. 新中期経営計画 重点施策 … P 21
- 4. 新中期経営計画及び2023年3月期業績見通し … P 26
- 5. 新中期経営計画 財務方針 … P 27





# I. 決算概要



ラサ商事株式会社

# 1. 2023年3月期第2四半期 ①決算概要（連結）

## ● 経営環境

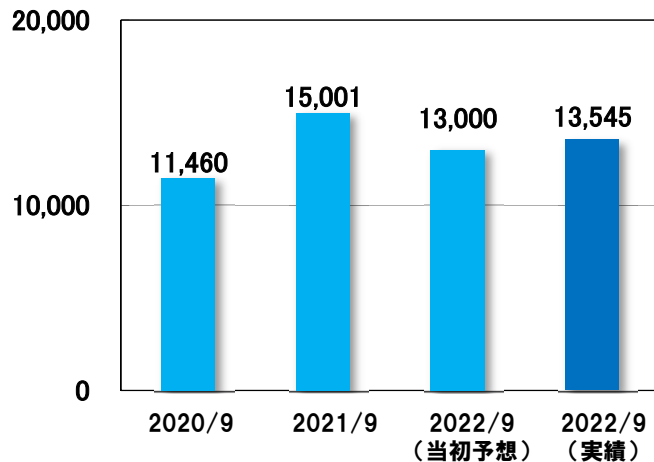
- 新型コロナウイルス感染症に対する各種政策の効果もあり、企業収益は持直しの傾向
- しかしながら、世界的な金融引締め等を背景とした景気の下振れリスクや、ウクライナ情勢の長期化の影響は依然として残り続け、先行きは不透明な状況

## ● 決算概要

- 売上高は主にプラント・設備工事関連が減収となったことを受け、前期比減収
- 利益についても、売上の減収を受け前期比減益
- 当初予想では大幅減益を見込んでいたが、資源・金属素材関連、産機・建機関連、プラント・設備工事関連で予想を大幅に上回る

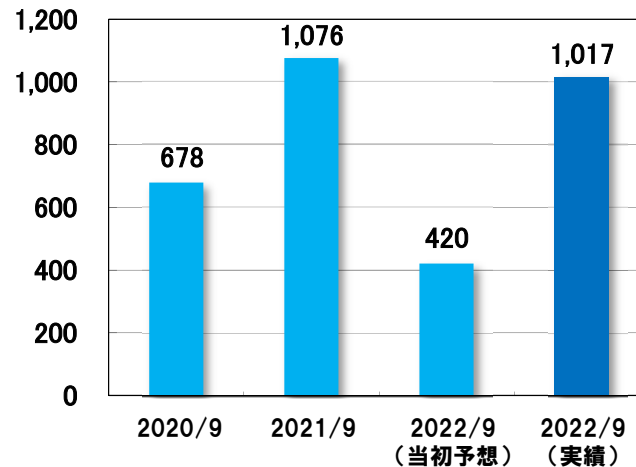
### 売上高（百万円）

135億4千5百万円  
（前期比 ▲9.7%）



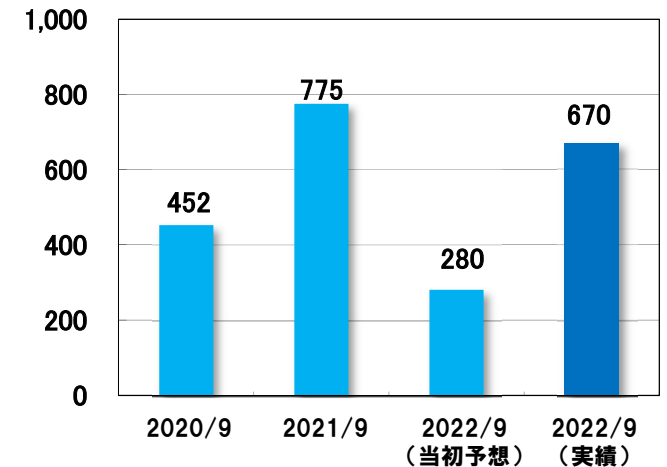
### 経常利益（百万円）

10億1千7百万円  
（前期比 ▲5.5%）



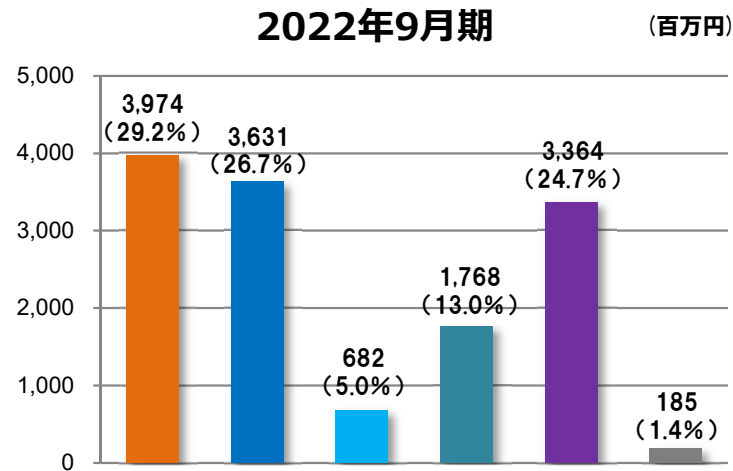
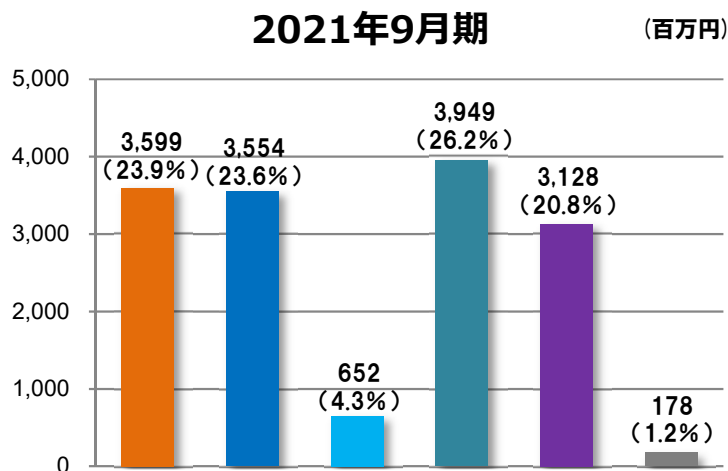
### 四半期純利益（百万円）

6億7千万円  
（前期比 ▲13.5%）

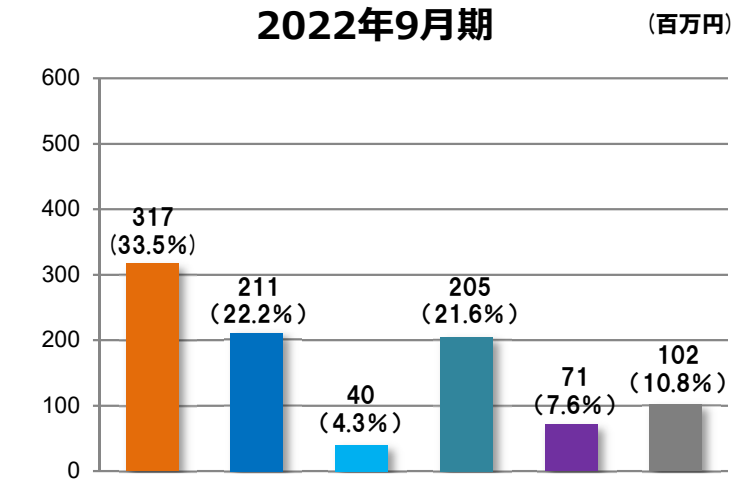
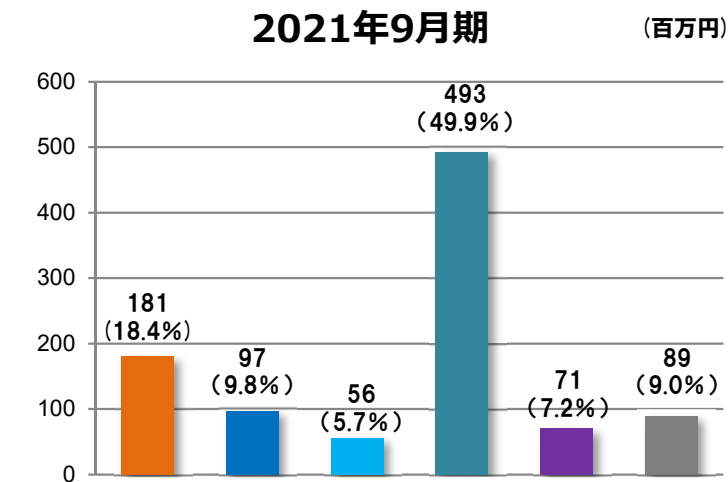


# 1. 2023年3月期第2四半期 ②決算概要（セグメント別）

売上高



営業利益



資源・金属素材  
関連

産機・建機  
関連

環境設備  
関連

プラント・設備工事  
関連

化成品  
関連

不動産賃貸  
関連

注)  
売上高はセグメント間の内部  
売上高を含む。

## 2. 2023年3月期第2四半期 ①損益計算書（連結）

（単位：百万円・％）

	前期 (2021.9)		当第2四半期 (2022.9実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	15,001	100	13,545	100	▲1,456	▲9.7
資源・金属素材関連	3,599	24.0	3,974	29.3	375	10.4
産機・建機関連	3,554	23.7	3,631	26.8	76	2.2
環境・設備関連	652	4.4	682	5.0	29	4.5
プラント・設備工事関連	3,949	26.3	1,768	13.1	▲2,180	▲55.2
化成品関連	3,128	20.9	3,364	24.8	236	7.5
不動産賃貸関連	178	1.2	185	1.4	6	3.9
セグメント間調整額	▲60	▲0.4	▲60	▲0.4	0	0.3
売上総利益	3,009	20.1	3,021	22.3	11	0.4
販売費及び一般管理費	2,020	13.5	2,071	15.3	50	2.5
営業利益	989	6.6	950	7.0	▲39	▲4.0
営業外収支	87	0.6	67	0.5	▲19	▲22.8
経常利益	1,076	7.2	1,017	7.5	▲59	▲5.5
特別利益	70	0.5	0	0.0	▲70	-
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	-
税引前四半期利益	1,146	7.6	1,017	7.5	▲129	▲11.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	775	5.2	670	4.9	▲104	▲13.5
1株当り四半期純利益(円)	66.67		57.76		▲8.91	
1株当り配当金(円)	21.00		29.00		8.00	

## 2. 2023年3月期第2四半期 ②損益計算書（個別）

（単位：百万円・％）

	前期 (2021.9)		当第2四半期 (2022.9実績)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	7,807	100	8,288	100	481	6.2
資源・金属素材関連	3,599	46.1	3,974	48.0	375	10.4
産機・建機関連	3,554	45.5	3,631	43.8	76	2.2
環境設備関連	652	8.4	682	8.2	29	4.5
売上総利益	1,987	25.5	2,391	28.9	404	20.4
販売費及び一般管理費	1,720	22.0	1,822	22.0	101	5.9
営業利益	266	3.4	569	6.9	303	113.9
営業外収支	72	0.9	211	2.6	139	190.8
経常利益	339	4.3	781	9.4	442	130.4
特別利益	70	0.9	0	0.0	▲70	-
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	-
税引前四半期利益	409	5.2	781	9.4	372	90.9
四半期純利益	279	3.6	557	6.7	277	99.4
1株当り四半期純利益(円)	23.85		47.66		23.81	

### 3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 当社取り扱い原料の相場価格上昇に伴い販売価格が上昇したことから、増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2020.9)	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	前期との差 (%)	前々期 (2020.9)	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	前期との差 (%)
ジルコン・チタン原料	915	1,619	2,523	904 (55.8)	830	1,564	2,392	828 (52.9)
輸入原料	538	839	1,166	327 (39.0)	394	986	1,635	649 (65.8)
金属シリコン	674	980	135	▲845 (▲86.2)	877	1,612	12	▲1,600 (▲99.3)
その他商品	138	160	149	▲11 (▲6.9)	141	190	154	▲36 (▲18.9)
合計	2,267	3,599	3,974	375 (10.4)	2,244	4,435	4,194	▲161 (▲3.7)
粗利益率	9.21	10.65	14.12	3.47	8.19	8.57	17.49	8.92



### 3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 建機関連の海外シールド販売は前年度に比べ低調であったが、産機関連の主に民間及びBCP用ポンプが堅調であったことから増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2020.9)	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	前期との差 (%)	前々期 (2020.9)	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	前期との差 (%)
スラリーポンプ 販売、メンテナンス等	2,439	2,220	2,476	256 (11.5)	2,899	2,973	3,661	688 (23.1)
その他産業機械	711	648	668	20 (3.1)	972	850	1,310	460 (54.1)
産業機械 計	3,150	2,868	3,144	276 (9.6)	3,871	3,823	4,971	1,148 (30.0)
シールド掘進機	543	639	445	▲194 (▲30.4)	389	515	496	▲19 (▲3.7)
その他建設機械	54	45	40	▲5 (▲11.1)	52	45	38	▲7 (▲15.6)
建設機械 計	597	684	485	▲199 (▲29.1)	441	560	534	▲26 (▲4.6)
合計	3,749	3,554	3,631	76 (2.2)	4,315	4,385	5,507	1,120 (25.5)

### 3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備機器の販売が低調となったが、大口案件となる汚泥処理設備改造工事が寄与したことから増収
- 一方、官庁向けポンプ整備に於いてコストの上昇を抑えられなかったことから減益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2020.9)	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	前期との差 (%)	前々期 (2020.9)	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	前期との差 (%)
水砕スラグ製造設備	407	221	210	▲11 (▲5.0)	283	177	264	87 (49.2)
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	227	192	336	144 (75.0)	452	446	471	25 (5.6)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	232	238	136	▲102 (▲42.9)	228	165	211	46 (27.9)
合 計	867	652	682	29 (4.5)	964	788	947	159 (20.2)

### 3. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 子会社旭テックが担うセグメント
- 前期と比べ大型工事の取引高が減少したことにより減収減益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	増減額	増減率	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	3,949	1,768	▲2,180	▲55.2	2,202	1,154	▲1,048	▲47.6

### 3. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- 子会社イズミが担うセグメント
- 新型コロナウイルス感染症に伴う海外ロックダウンや半導体不足の影響により自動車、潤滑油分野での受注減少となったが、電線、建材分野での受注が堅調に推移したことから増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	増減額	増減率	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	増減額	増減率
化成品関連	3,128	3,364	236	7.5	3,064	3,326	262	8.6

### 3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- 子会社ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 前年と異なり賃貸ビルが満室を維持できたことから増収
- 賃貸収入が増加したことに加え、管理業務委託費、修繕費などの減少もあり増益

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2021.9)	当期 (2022.9)	前期比	
			増減	増減率
不動産賃貸関連	178	185	6	3.9



# 4. 貸借対照表 (連結) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2022.3)		当第2四半期末 (2022.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	<b>18,702</b>	<b>59.6</b>	<b>17,854</b>	<b>58.3</b>	<b>▲848</b>	<b>▲4.5</b>
現金及び預金	4,445		4,600		154	3.5
受取手形、売掛金及び契約資産	9,518		8,008		▲1,509	▲15.9
電子記録債権	1,767		1,951		184	10.4
商品及び製品	2,633		3,000		366	13.9
未成工事支出金	19		111		92	488.7
その他	317		180		▲137	▲43.2
<b>固定資産</b>	<b>12,684</b>	<b>40.4</b>	<b>12,760</b>	<b>41.7</b>	<b>75</b>	<b>0.6</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,835</b>	<b>(25.0)</b>	<b>7,770</b>	<b>(25.4)</b>	<b>▲64</b>	<b>▲0.8</b>
建物及び構築物	1,705		1,651		▲54	▲3.2
土地	6,000		6,000		0	-
その他	129		118		▲10	▲8.2
<b>無形固定資産</b>	<b>232</b>	<b>(0.7)</b>	<b>218</b>	<b>(0.7)</b>	<b>▲14</b>	<b>▲6.2</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>4,616</b>	<b>(14.7)</b>	<b>4,771</b>	<b>(15.6)</b>	<b>155</b>	<b>3.4</b>
投資有価証券	3,308		3,364		56	1.7
保険積立金	982		1,116		134	13.7
その他	326		290		▲36	▲11.1
<b>資産合計</b>	<b>31,387</b>	<b>100.0</b>	<b>30,614</b>	<b>100.0</b>	<b>▲772</b>	<b>▲2.5</b>

# 4. 貸借対照表 (連結)

## ②負債・純資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2022.3)		当第2四半期末 (2022.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	<b>8,622</b>	<b>(27.5)</b>	<b>7,935</b>	<b>(25.9)</b>	<b>▲686</b>	<b>▲8.0</b>
支払手形及び買掛金	3,169		2,683		▲485	▲15.3
電子記録債務	1,471		1,155		▲316	▲21.5
工事未払金	544		165		▲378	▲69.6
短期借入金	1,690		1,850		160	9.5
1年内返済予定の長期借入金	440		543		103	23.6
未払法人税等	420		344		▲76	▲18.1
契約負債	123		331		208	169.2
賞与引当金	310		342		32	10.5
工事損失引当金	3		1		▲2	▲57.0
その他	450		516		66	14.8
<b>固定負債</b>	<b>3,607</b>	<b>(11.5)</b>	<b>3,290</b>	<b>(10.7)</b>	<b>▲316</b>	<b>▲8.8</b>
長期借入金	2,904		2,556		▲347	▲12.0
繰延税金負債	355		345		▲9	▲2.7
退職給付に係る負債	24		26		2	9.8
役員株式給付引当金	95		139		44	47.0
その他	227		221		▲6	▲2.7
<b>負債合計</b>	<b>12,230</b>	<b>39.0</b>	<b>11,226</b>	<b>36.7</b>	<b>▲1,003</b>	<b>▲8.2</b>
<b>株主資本</b>	<b>19,000</b>		<b>19,204</b>		<b>203</b>	<b>1.1</b>
その他の包括利益累計額	156		184		27	17.4
<b>純資産合計</b>	<b>19,156</b>	<b>61.0</b>	<b>19,388</b>	<b>63.3</b>	<b>231</b>	<b>1.2</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,387</b>	<b>100.0</b>	<b>30,614</b>	<b>100.0</b>	<b>▲772</b>	<b>▲2.5</b>
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>61.0</b>		<b>63.3</b>		<b>2.3</b>	

# 4. 貸借対照表（個別） ①資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2022.3)		当第2四半期末 (2022.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	<b>12,342</b>	<b>62.0</b>	<b>11,931</b>	<b>60.7</b>	<b>▲410</b>	<b>▲3.3</b>
現金及び預金	2,947		3,078		131	4.5
受取手形	727		612		▲115	▲15.8
電子記録債権	987		1,023		36	3.7
売掛金	4,925		4,116		▲809	▲16.4
商品	2,523		2,717		194	7.7
その他	231		383		151	65.2
<b>固定資産</b>	<b>7,575</b>	<b>38.0</b>	<b>7,710</b>	<b>39.3</b>	<b>135</b>	<b>1.8</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>653</b>	<b>(3.3)</b>	<b>633</b>	<b>(3.2)</b>	<b>▲20</b>	<b>▲3.1</b>
建物	101		97		▲3	▲3.7
土地	464		464		0	-
その他	87		71		▲16	▲18.6
<b>無形固定資産</b>	<b>175</b>	<b>(0.9)</b>	<b>158</b>	<b>(0.8)</b>	<b>▲16</b>	<b>▲9.4</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>6,746</b>	<b>(33.9)</b>	<b>6,918</b>	<b>(35.2)</b>	<b>171</b>	<b>2.5</b>
投資有価証券	664		699		35	5.3
子会社株式	3,954		3,954		0	-
関係会社株式	785		785		0	-
保険積立金	949		1,116		167	17.6
その他	392		362		▲30	▲7.7
<b>資産合計</b>	<b>19,917</b>	<b>100.0</b>	<b>19,642</b>	<b>100.0</b>	<b>▲275</b>	<b>▲1.4</b>

# 4. 貸借対照表（個別）

## ②負債・純資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2022.3)		当第2四半期末 (2022.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	<b>5,456</b>	<b>27.4</b>	<b>5,020</b>	<b>25.6</b>	<b>▲435</b>	<b>▲8.0</b>
支払手形	61		0		▲61	▲100.0
電子記録債務	1,180		920		▲260	▲22.0
買掛金	1,468		1,184		▲284	▲19.4
短期借入金	1,580		1,750		170	10.8
1年内返済長期借入金	174		78		▲96	▲55.2
未払法人税等	292		217		▲75	▲25.8
賞与引当金	252		292		39	15.7
その他	445		577		132	29.7
<b>固定負債</b>	<b>178</b>	<b>0.9</b>	<b>202</b>	<b>1.0</b>	<b>23</b>	<b>13.1</b>
長期借入金	35		20		▲15	▲42.9
役員株式給付引当金	95		139		44	47.0
その他	48		42		▲6	▲12.7
<b>負債合計</b>	<b>5,634</b>	<b>28.3</b>	<b>5,222</b>	<b>26.6</b>	<b>▲412</b>	<b>▲7.3</b>
<b>純資産合計</b>	<b>14,283</b>	<b>71.7</b>	<b>14,420</b>	<b>73.4</b>	<b>136</b>	<b>1.0</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,917</b>	<b>100.0</b>	<b>19,642</b>	<b>100.0</b>	<b>▲275</b>	<b>▲1.4</b>
<b>自己資本比率（％）</b>	<b>71.7</b>		<b>73.4</b>		<b>1.7</b>	

# 5. キャッシュ・フロー (連結)

(単位:百万円)

	前第2四半期 (2021.9)	当第2四半期 (2022.9)	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	521	890	税金等調整前四半期純利益	1,017
			持分法による投資損益(▲は益)	▲60
			売上債権及び契約資産の増減額(▲は増加)	1,325
			棚卸資産の増減額(▲は増加)	▲458
			仕入債務の増減額(▲は減少)	▲1,180
			契約負債の増減額(▲は減少)	208
投資キャッシュ・フロー	45	▲181	有形固定資産の取得による支出	▲22
			無形固定資産の取得による支出	▲15
			保険積立金の積立による支出	▲218
			保険積立金の払戻による収入	78
財務キャッシュ・フロー	▲520	▲553	短期借入金の純増減額(▲は減少)	160
			長期借入金の返済による支出	▲244
			配当金の支払額	▲347
換算差額	▲0	0		
増減	45	154		
期首残高	4,675	4,443		
期末残高	4,721	4,598		





## Ⅱ. 新中期経営計画の進捗と 2023年3月期通期業績見込み



ラサ商事株式会社

# 1. 新中期経営計画 骨子

2022年度

2023年度

2024年度

## 新中期経営計画

“Resilience” Rasa 2024

～再生から飛躍へ～

グループ・ガバナンスの再構築から“再生”を始動させ、  
社会インフラを支える付加価値創出企業としての  
新たな“飛躍”を目指す

## 2. 新中期経営計画 企業理念と長期ビジョン

持続可能な社会の実現への寄与と、グループ全体の持続的な成長を同時に目指すべく、長期ビジョンを策定しました。

### 企業理念

世界に通用する一流技術商品と有用な価値ある資源を国内外に販売し、豊かな社会に貢献する



### 長期ビジョン (10年後の目指す姿)

専門商社の枠組みを超えて、**社会のインフラを支える付加価値創出企業へ**



### 3. 新中期経営計画 重点施策

#### ① グループ・ガバナンスの確立

②

グループの連携強化による  
シナジーの追求

③

既存事業の収益基盤強化  
と新規事業機会の獲得

#### ④ 事業を通じたサステナビリティへの取り組み

# グループ・ガバナンスの確立

今後のラサ商事グループの“再生から飛躍へ”に向けた確かな歩みの基礎として、「グループ・ガバナンスの確立」を本中期経営計画の最重要課題と位置づけ、真摯に取り組む

## ● グループ企業における内部統制等の再構築

- 【旭テック(株)】… ● 新人事制度構築による組織の活性化  
● 新基幹情報システム導入による内部統制強化
- 【イズミ(株)】…… ● 内部統制の構築

## ● グループ・ガバナンスの継続的モニタリングの実施



# グループの連携強化によるシナジーの追求



## 連携強化による シナジーの追求

グループ企業間における  
継続的人事交流の実施

建設工事における安全衛生対策  
等に関する情報共有化による  
安全対策レベルの引上げ

共同営業による受注強化

【重点施策③】

# 既存事業の収益基盤強化と新規事業機会の獲得

事業セグメント	既存事業の収益基盤強化	新規事業機会の獲得
資源・金属 素材関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ジルコンサンド</b>の安定的な調達・供給体制の強化と適正な在庫管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな資源関連商材の開拓 (チタン関連商材、二次電池関連商材他)</li> </ul>
産機・建機 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>BCP関連商品</b>の拡販と新規導入 ⇒ 多目的可搬式ポンプユニット「BETSY」の拡販 ⇒ 「耐水型汚泥ポンプ」のBCP市場への導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>クリーンエネルギー戦略に則した製品</b>の開発と受注拡大 (スラリーポンプの高効率化、新材質開発による部品の長寿命化)</li> <li>● <b>環境負荷を低減した小口径掘進機</b>の開発と新市場の開拓</li> </ul>
環境設備 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非鉄製錬ユーザー等への<b>水砕スラグ製造設備</b> 「ラサ・システム」の販売強化</li> <li>● 設備負荷を軽減する<b>高機能水処理用薬品</b>の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>低含水率汚泥用の圧送ポンプ</b>の開発</li> </ul>
プラント・設備 工事関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建屋プレファブエリア（1800坪）を活かした <b>大型加工工事</b>の受注強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>官庁整備案件</b>の受注強化</li> </ul>
化成品関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>仕入先メーカーとの関係</b>強化</li> <li>● 原料価格相場変動に対応した<b>販売価格連動制</b>の推進</li> </ul>	
不動産賃貸 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>グループ保有不動産</b>に関する有効活用の継続的検討</li> </ul>	

# 事業を通じたサステナビリティへの取り組み

## 社会・環境課題への取り組み

- 各事業におけるサステナブルな製品開発・供給を推進
- バイオガス、水力、地熱発電向けポンプ応用技術の可能性を追求
- 化成品関連商品におけるカーボンニュートラル対応商品の展開
- 再生可能エネルギーの利用促進  
(自家消費型太陽光発電の継続利用及び新規導入検討)
- 社会・環境貢献に関する取り組み  
(自然環境保護、水・衛生環境改善、感染症予防など)
- 本社ビル等のエコ電力導入の検討

## 人材への取り組み

- オンライン営業やリモートワークなど新たな働き方の模索
- 女性活躍推進法に基づく女性の積極的採用と営業職での育成強化

# 4. 新中期経営計画および2023年3月期通期業績見通し

(単位：百万円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (計画)		2023年度 (計画)	2024年度 (目標)	
		5/11 当初計画	9/27 修正予想			
経営目標 (連結)	売上高	31,329	28,000	28,600	29,000	32,000
	営業利益	2,551	1,900	2,300	2,000	2,300
	経常利益	2,812	2,000	2,500	2,100	2,500
	親会社に帰属する 当期純利益	2,014	1,450	1,750	1,500	1,800
目標とする 経営指標 (連結)	ROE (自己資本 当期純利益率)	10.9%	-	-	-	9%以上
	売上高営業利益率	8.1%	-	-	-	6%以上
	自己資本比率	61.0%	-	-	-	50%以上

**【2024年度の利益目標が2021年度実績を下回る計画となっている理由】**

プラント設備・工事関連事業において、組織の整備、ガバナンスの確立のために、人材やシステムなどへの投資に注力する計画となっていることに加え、建設資材の高騰、資材不足による工期延長などが少なからず業績に影響することが見込まれるため



# 5. 新中期経営計画 財務方針

## 投資方針

財務の健全性に配慮しつつ、企業価値向上に資するM&A案件があれば、機動的に対処するとともに、将来を見据えた能力増強や業務効率化に資する投資も継続して行う。

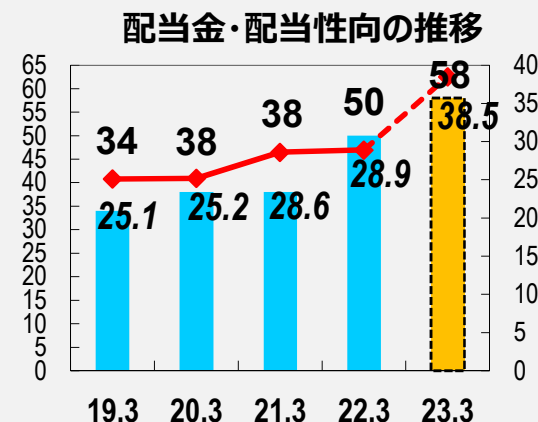
本中期経営計画には新たなM&Aによる売上や収益への寄与は織り込んでおりません。

## 配当方針

株主様への利益還元については、重要な経営課題との認識のもと、安定配当を基本方針とする。

配当性向の引き上げ 従来30%前後 ➡ 【2022年度～】 40%前後

- 2022年3月期実績 配当性向 28.9%  
年間50円【中間】21円【期末】29円
- 2023年3月期予想 配当性向 38.5%  
年間58円【中間】29円【期末】29円





## ● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ● I Rに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング  
TEL : 03-3668-8232

URL: <https://www.rasaco.co.jp/> \*「お問い合わせ」をクリックしてください。